



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校

発行日 令和6年1月31日

発行者 校長 大野 良子

No. 391 2月号

～学校評価アンケートの結果を受けて～

副校長 濱田 哲

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。学校では、児童・保護者のアンケート結果を分析して、今年度の教育活動の成果を確認するとともに、次年度の指導の重点項目を明確にし、教育課程の改善に努めていきます。昨年度のアンケート結果と比較して結果が向上したものなど、一部を報告させていただきます。

★肯定的な評価が高かった項目（括弧内の数値は、昨年度から変化したポイント数）

	内容（要約しています）	児童	保護者
2	先生や友達と楽しい学校生活をすごしている	96.0% (2.5)	95.8% (3.9)
6	楽しく分かりやすい授業が実践されている	93.0% (3.7)	87.5% (4.0)
16	学校の教育活動の様子をわかりやすく知らせている	82.2% (4.4)	98.6% (4.7)
19	地域の行事に協力的で、連携を図っている	71.9% (0.4)	82.5% (13.3)

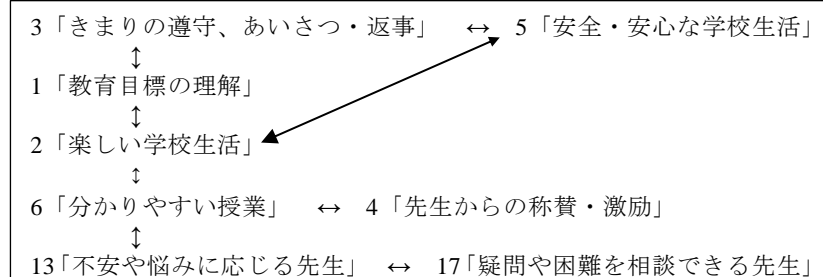
★課題のある項目

3	服装や通学態度、あいさつなど基本的な生活習慣がしっかりしている	あまりあてはまらない（教職員） 29.5%
11	偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている	よくわからない（保護者） 15.7%
20	意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている	よくわからない（保護者） 25.0%

また、児童のアンケート結果について、質問相互の相関関係を求めてみました。相関関係とは、2つの項目に何かしらの関係性があることを示すものです。「Aという項目で肯定的な（否定的な）回答をする人は、Bという項目でも肯定的な（否定的な）回答をする。」という傾向を見ることができます。

最も相関関係が高かった質問項目は、「**悩みや不安、心配事を相談できる先生がいる**」と「**先生は、分からなかったり困ったりした時に相談するとアドバイスをくれる**」でした。「先生から、良さや努力をほめられたり、励まされたりすることがある」と「先生は、楽しく分かりやすく教えてくれる」の間にも、強い相関関係が見られました。相関関係が顕著にあったものをまとめてみました。

このように整理すると、教師がたくさん褒めたり励ましたりすることで、授業が分かると感じるようになり、そのことが楽しい学校生活につながっていくという仮説を立てることができます。また、きまりの遵守や、あいさつや返事の



の取組を充実させることが、児童の安全・安心な学校生活につながると考えることができます。

安全・安心を確保し、分かる授業を展開することで、楽しい学校生活を目指していきます。そのために、規範意識を高める指導をするとともに、不安や悩みを相談しやすい雰囲気を醸成していきます。